

体育科学学位プログラム ハイパフォーマンス科学コース（博士後期課程）												
養成する人材像	<p>体育スポーツに関連する普遍的並びに現代的問題の解決を目指し、幅広い学識と高度な専門的知識を有し、自立した教育者・研究者として高度の学術研究により国際社会に貢献できる人材を養成する。特に、スポーツパフォーマンスおよび競技力向上に関する研究を自立的に遂行し、関連諸科学の知見に基づき課題を科学的に説明・解決できる研究者を養成する。</p>											
教育研究の特徴	<p>現代において、人の運動能力を改善するための効果的なトレーニングとは科学的エビデンスに基づいて展開されるべきものであると広く認識されています。また、トレーニング科学は、与えられた運動負荷に対する人間の適応過程を科学的に分析し、健康や体育・スポーツへの応用を意図した専門領域です。本コースでは、主としてスポーツパフォーマンスおよび競技力の向上を目的としたトレーニング科学を学びます。スポーツパフォーマンスが心・技・体の観点から成り立つことに合わせて、心理学、生理学、バイオメカニクス、トレーニング学を学び、パフォーマンス向上に関する総合的知力を身に付け、実践的研究・客観的指導を拡大・深化させることのできる学識と研究能力をもった専門家を育成します。机上理論を現場で検証するのではなく現場で生じる課題を敏感に、かつ的確にとらえ、客観的方法で問題解決を図ることができる専門家、研究者の育成を意図し、コースの持つ研究領域における専門知識と研究法について学び、指導教員の下、研究（以下のあげる）をすすめます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体力（筋力、筋パワー、持久力）の向上（トレーニング学、スポーツ生理学） ・動作、技術（skill）の向上と戦術（スポーツバイオメカニクス） ・心理、および心理生理的アプローチ（スポーツ心理学） ・栄養摂取、コンディショニング（スポーツ栄養学） ・様々な競技力向上サポート実践 											
修了後の進路	<p>大学教員/中学校・高等学校教諭（保健体育）/専門学校教諭スポーツ指導者/アスレティックトレーナー/スポーツ競技団体制員/スポーツ関連機関職員/スポーツ関係企業人/医療機関職員など</p>											
年次・学期	1年次				2年次				3年次			
科目区分	前学期		後学期		前学期		後学期		前学期		後学期	
大学院共通科目	身体総合学術特論	2										
研究群共通科目	研究報告演習	2										
	英語論文ライティング	(通年)	英語論文ライティング	2								
専修科目	ハイパフォーマンス科学特論演習	2										
研究指導科目	体育科学研究Ⅰ	(通年)	体育科学研究Ⅰ	2	体育科学研究Ⅱ	(通年)	体育科学研究Ⅱ	2	体育科学研究Ⅲ	(通年)	体育科学研究Ⅲ	2
履修方法	<p>次の履修方法により、12単位以上を修得すること。</p> <p>(1) 大学院共通科目: 2単位</p> <p>(2) 共通科目: 2単位</p> <p>※「研究報告演習」は必修</p> <p>(3) 専修科目: コーチング科学学位プログラムの科目から2単位</p> <p>(4) 研究指導科目: コーチング科学研究Ⅰ～Ⅲの6単位</p> <p>※研究指導教員が担当する科目を選択する。</p>											
修了要件	<p>3年以上在学し、各学位プログラムが定める修了に必要な授業科目を12単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。</p>											
その他の学修・研究	学会発表		論文投稿 学会発表		論文投稿 学会発表		論文投稿 中間発表会 学会発表		学会発表		博士論文作成 博士論文審査 最終試験 最終発表会	